

閉会中の活動報告

福祉文教委員会

行政視察

福祉文教委員会では、地域福祉・教育・医療介護など幅広い課題への理解を深めるため、兵庫県豊岡市、姫路市、大阪府堺市の3自治体へ行政視察を行いました。人口減少と社会構造の変化が進む中、それぞれの自治体で進められている先進的な取組を学ぶ貴重な機会となりました。

◎兵庫県豊岡市「芸術文化をまちづくりの中心に据えた取組について」

豊岡市では、芸術文化観光専門職大学を核とした人材育成、国内外の作品が集う豊岡演劇祭、アーティストが長期滞在し創作と市民交流を行う城崎国際アートセンターなど、文化芸術を地域の活力に転換する独自の戦略が進められています。若い人材の流入効果や、地域との協働による文化醸成が着実に成果を生んでおり、文化を通じた持続可能な地域づくりの姿が示されました。



兵庫県豊岡市



兵庫県姫路市

◎兵庫県姫路市「教育ICT・DXの全市的な推進について」

姫路市では、市内全ての学校で機器やネットワーク環境を均質に整備し、地域差なく学べる環境づくりが進んでいる点が特徴です。また、メタバース上に新たな学びの場を構築した「姫路市学習プラットフォーム」では、不登校支援や個別最適化学習など、多様な学習ニーズに対応する取組を伺いました。これらは本市における教育DXの今後を考える上でも大きな示唆となりました。

◎大阪府堺市「医療・介護の多職種連携体制について」

堺市では、同市が全国に先駆けて制定した「地域包括ケアシステム推進条例」を中心に、医療・介護の多職種連携体制について学びました。医師会が運営する多職種協議体「いいともネットさかい」や、入退院支援の核となる「C・Cコネット」、さらにICTを活用した医療・介護情報共有の仕組みなど、行政と現場団体が対等に連携しながら、地域の医療介護インフラを守る取組が体系的に進められていました。

今回の視察を通じ、文化による地域力の向上、教育DXの加速、そして医療・介護連携の深化という、各自治体が直面する課題と、その解決に向けた実践を学びました。得られた知見を今後の委員会審査や政策提言に生かし、住みよい高山市の実現に向けて取り組んでまいります。



大阪府堺市